

がん検診に関する各種報告

京都府健康福祉部健康対策課

令和3年3月8日（月）令和2年度京都府生活習慣病検診等管理指導協議会



第2期 京都府がん対策推進計画（平成30年3月～）

第2期京都府がん対策推進計画の全体目標・分野別施策

全体目標

がんを予防し、早期発見・早期治療でがんで亡くなる人を減らす

患者本位の適切な医療を実現し、がん患者およびその家族の苦痛や精神的不安の軽減ならびに療養生活の質の維持向上

がんになっても安心して暮らせる社会の構築

分野別施策

1. がん予防・がん検診の強化

【1次予防:がんのリスクの減少】
①がん教育・がんの正しい知識の普及啓発
②たばこ対策
③感染に起因するがん対策（ウイルス、細菌など）
④食生活・生活習慣の改善

【2次予防:
がんの早期発見、がん検診】
①検診の受診率向上
②精度管理・検診従事者の資質向上

2. がん医療体制の整備・充実

①手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法の推進
②緩和ケア・支持療法の推進
③在宅医療の充実
④連携体制の強化
⑤小児がんへの対応の充実
⑥ゲノム医療の普及
⑦その他治療機能の充実
⑧がん登録の推進

3. がんとの共生社会の実現

①相談支援体制、情報提供体制の充実
②就労支援の強化
③社会的な問題への対応の充実
④小児・AYA世代、高齢者に対する支援の強化

第2期京都府がん対策推進計画数値目標（がん検診）

数値目標	現状値	目標値（2023年度）
がん検診受診率 （参考：国民生活基礎調査、40歳以上69歳未満 ただし子宮頸がん検診は20歳以上69歳未満）	35.5～41.2% （2016年度）	50%
がん検診精検受診率 （参考：地域保健健康増進事業報告）	70.2～91.4% （2014年度）	100%
がん検診・特定健診のセット検診実施状況 （京都府健康対策課調べ）	—	全市町村
総合がん検診の実施状況 （京都府健康対策課調べ）	—	全市町村
がん検診評価のためのチェックリスト項目を80%充足している市町村数（参考：市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査）	—	全市町村
がん検診受診率向上・精度管理向上に関する人材の育成	—	150人

京都府のがん検診の状況（R元年度検診実施状況）

R1年度	検査方法		検査方式		対象年齢				間隔
			集団	個別	20歳以上	30歳以上	40歳以上	50歳以上	隔年
胃がん	胃X線検査	26	25	1	0	0	26		2
	胃内視鏡	2	0	2	0	0	1	1	2
肺がん	胸部X線 + 喀痰細胞診	26	26	0	0	0	26	0	—
大腸がん	便潜血二日法	26	21	16	0	0	26	0	—
乳がん	マンモグラフィ	20	20	17	0	0	20	0	10
	マンモ + 視触診	6	1	5	0	1	5	0	5
	エコー	2	1	1	0	2	0	0	2
子宮頸がん	頸部細胞診	26	14	24	26	0	0	0	17

※京都府内検診実施自治体数（N=26自治体）

令和2年度市町村がん検診実施状況調査より

京都府がん検診のプロセス指標（H29年度）

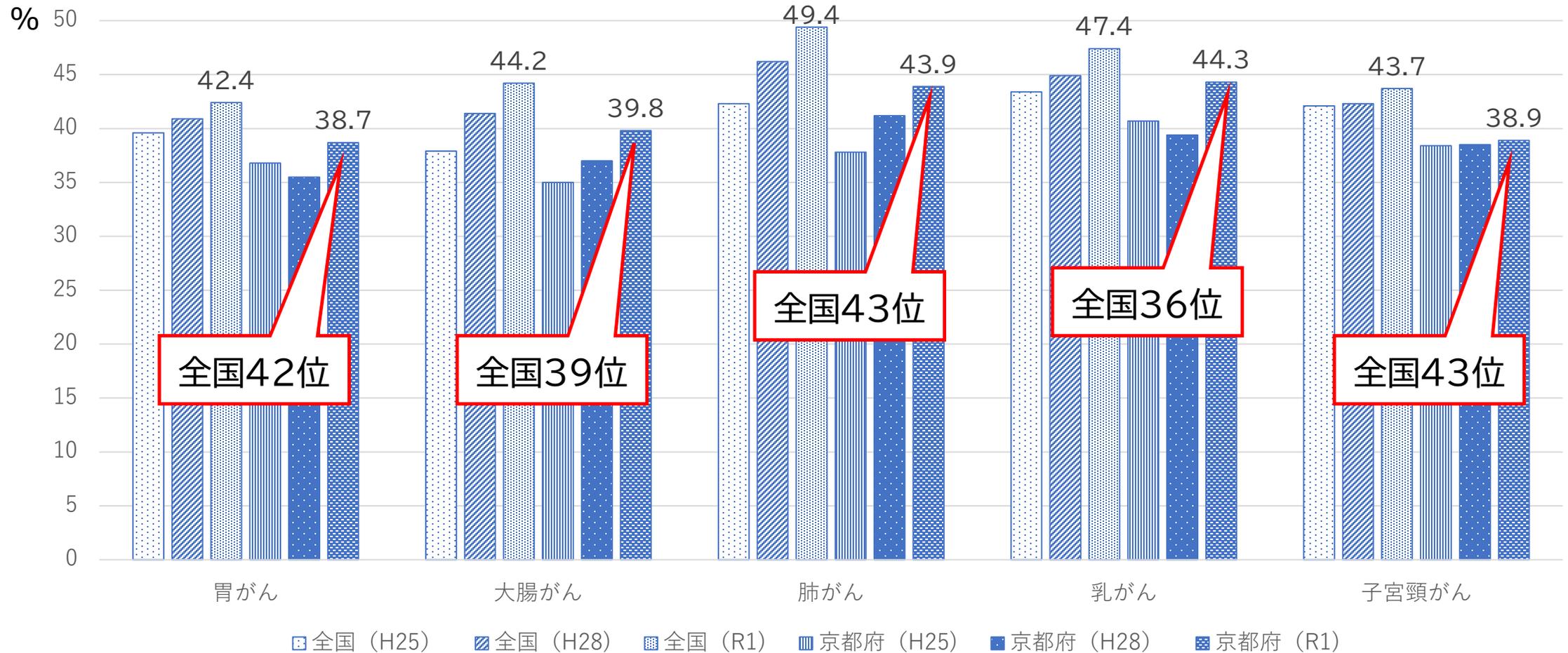
	胃がん (集団 ・X線)	胃がん (個別 ・内視鏡)	大腸がん (集団)	大腸がん (個別)	肺がん (集団)	乳がん (集団)	乳がん (個別)	子宮頸がん (集団)	子宮頸がん (個別)
受診率<H30年度> ()は全国値	6.2 (8.1)		4.9 (8.1)		3.9 (7.1)	19.6 (17.2)		10.6 (16.0)	
要精検率	6.4% (11%以下)	6.9% (11%以下)	6.6% (7.0%以下)	9.0% (7.0%以下)	2.1% (3.0%以下)	5.0% (11%以下)	6.1% (11%以下)	0.9% (1.4%以下)	2.6% (1.4%以下)
精検受診率	83.8% (70%以上)	60.4% (70%以上)	71.9% (70%以上)	72.7% (70%以上)	89.8% (70%以上)	95.0% (80%以上)	93.6% (80%以上)	83.1% (70%以上)	79.4% (70%以上)
精検未受診率	7.4% (20%以下)	39.6% (20%以下)	13.2% (20%以下)	11.5% (20%以下)	7.1% (20%以下)	3.4% (10%以下)	3.5% (10%以下)	9.0% (20%以下)	15.1% (20%以下)
精検未把握率	8.9% (10%以下)	0.0% (10%以下)	14.9% (10%以下)	15.8% (10%以下)	3.4% (10%以下)	1.6% (10%以下)	2.9% (10%以下)	7.9% (10%以下)	5.5% (10%以下)
陽性反応的中度	2.0% (1.0%以上)	9.9% (1.0%以上)	2.8% (1.9%以上)	3.4% (1.9%以上)	1.1% (1.9%以上)	5.5% (2.5%以上)	4.3% (2.5%以上)	2.2% (4%以上)	1.1% (4%以上)
がん発見率	0.13% (0.11%以上)	0.68% (0.11%以上)	0.18% (0.13%以上)	0.31% (0.13%以上)	0.02% (0.03%以上)	0.28% (0.23%以上)	0.26% (0.23%以上)	0.02% (0.05%以上)	0.03% (0.05%以上)

※要精検率～がん発見率の下段は許容値

※プロセス指標は74歳以下、受診率は69歳以下

平成30年度地域保健健康増進事業報告より

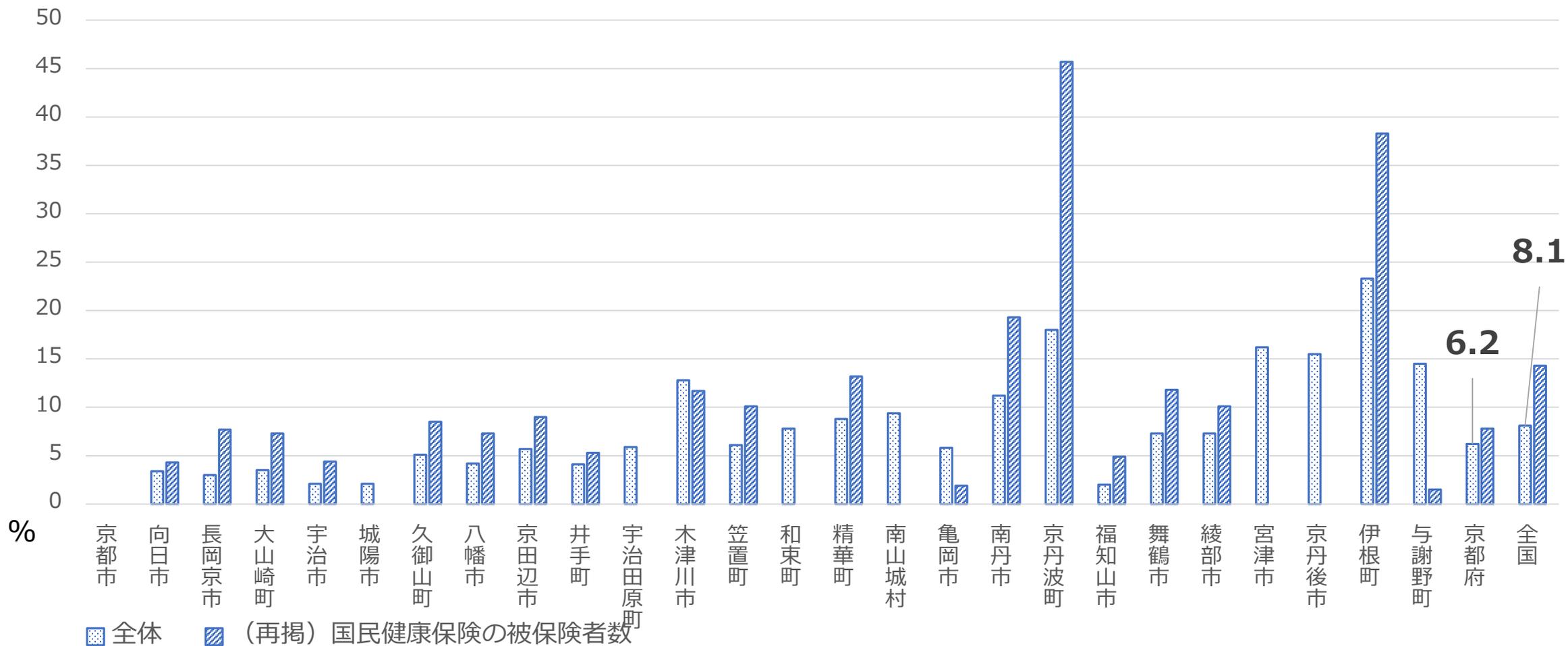
京都府のがん検診受診率 (2019年国民生活基礎調査)



令和元年度国民生活基礎調査より

市町村別がん検診受診率＜H30胃がん＞

(出典：H30地域保健・健康増進事業報告)

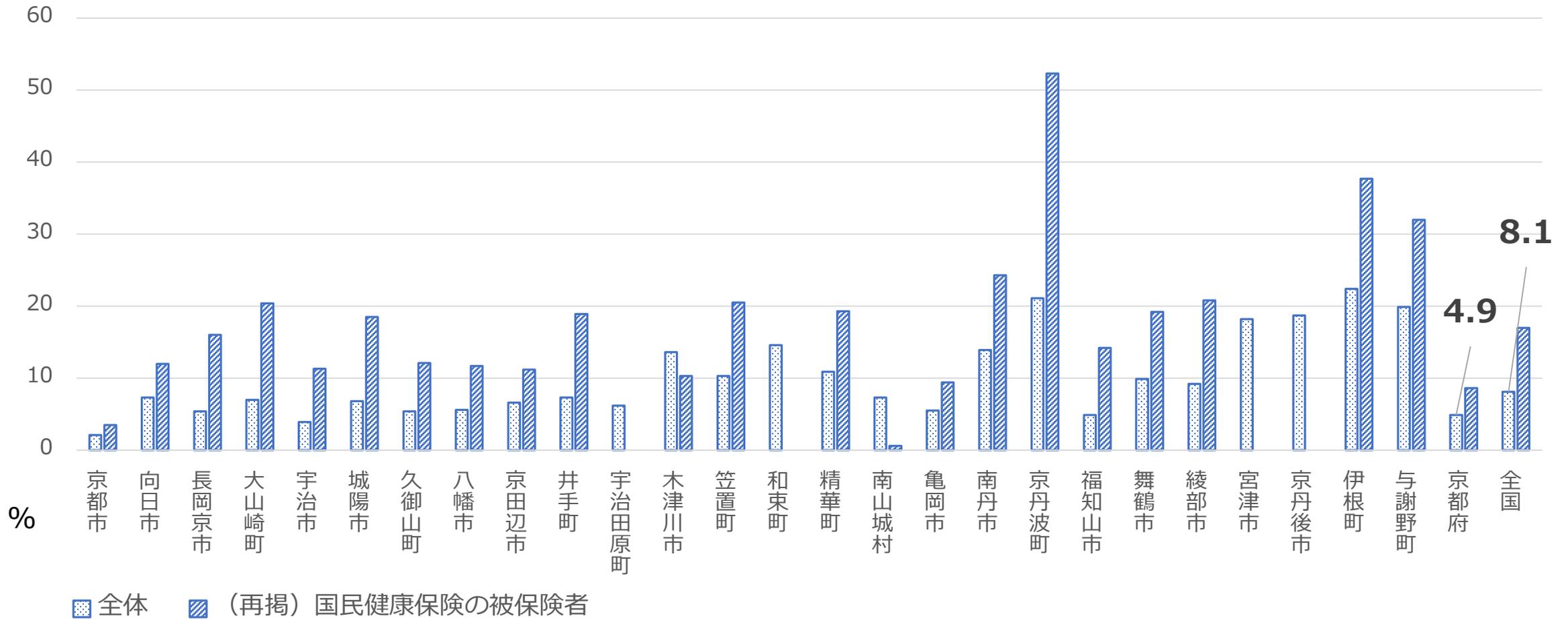


※50～69歳、2年に1回、胃部エックス線及び内視鏡検査の合計
 ※グラフなしはデータ不詳

平成30年度地域保健健康増進事業報告より

市町村別がん検診受診率 < H30大腸がん >

(出典：H30地域保健・健康増進事業報告)

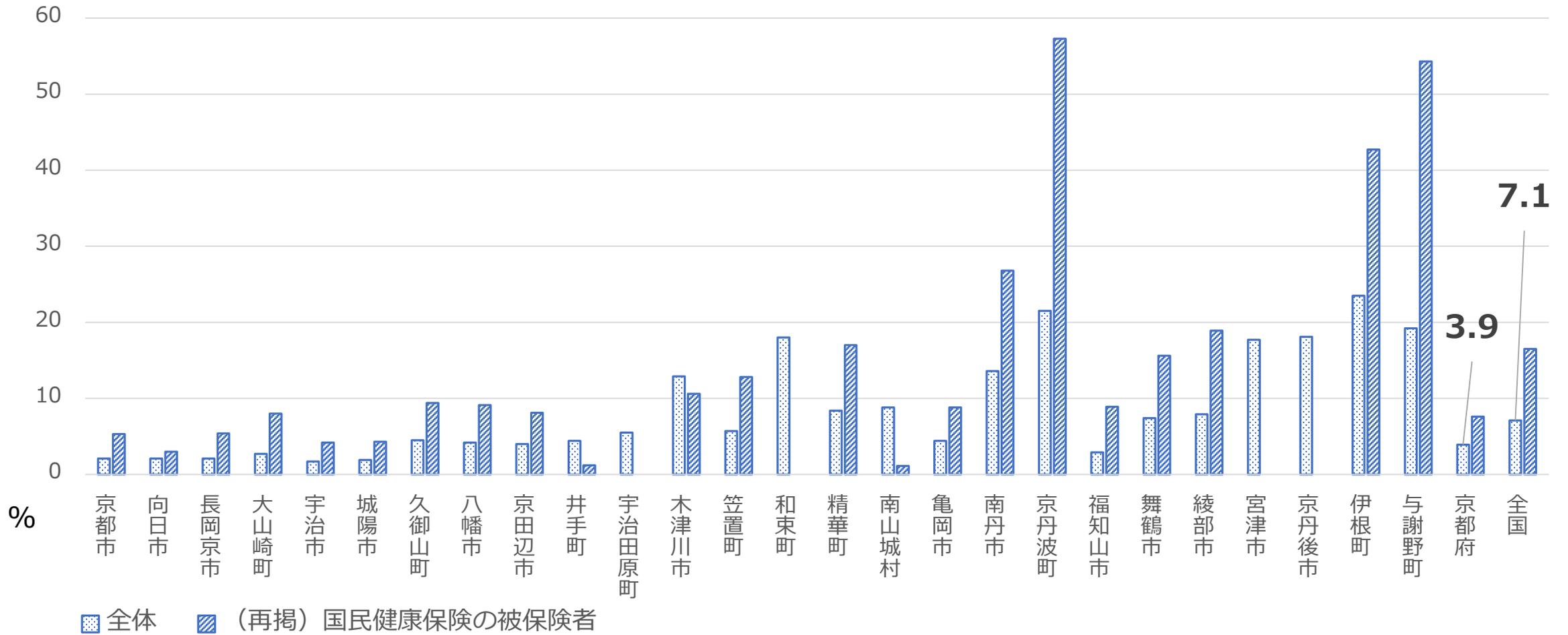


平成30年度地域保健健康増進事業報告より

※40～69歳、2年に1回,グラフなしはデータ不詳

市町村別がん検診受診率＜H30肺がん＞

(出典：H30地域保健・健康増進事業報告)

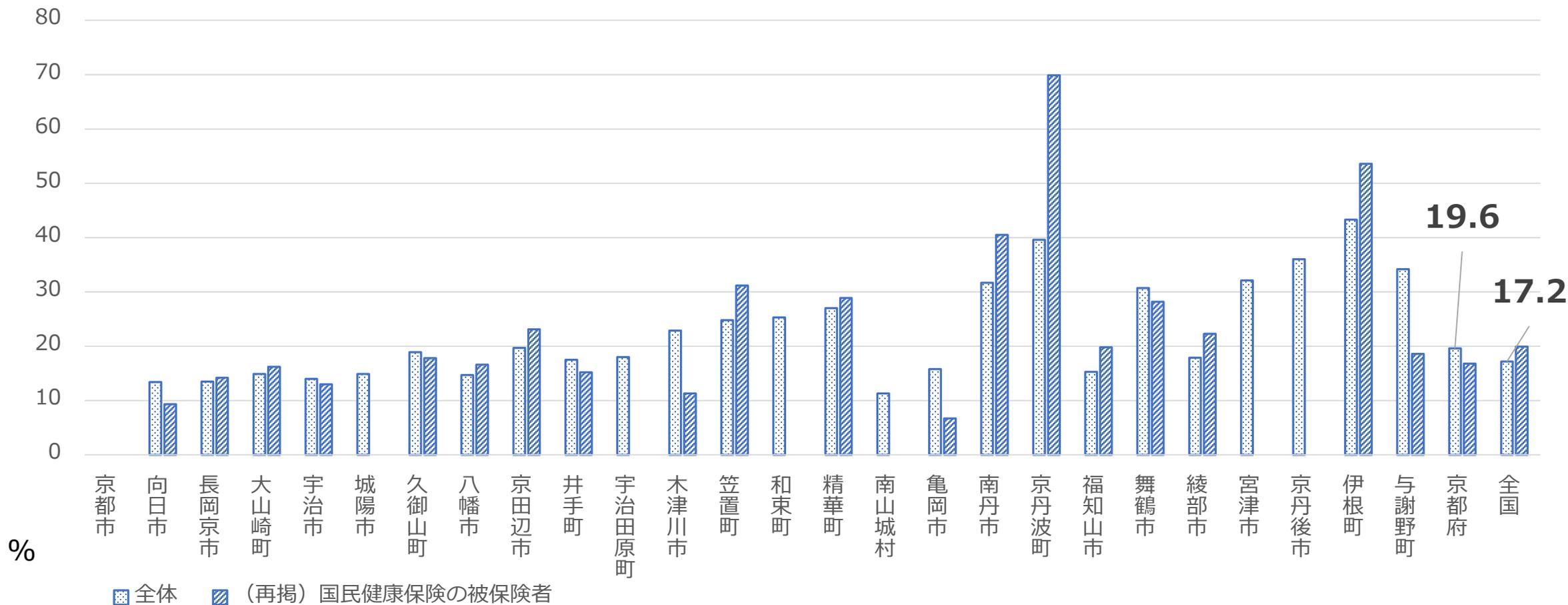


※40～69歳、2年に1回、グラフなしはデータ不詳

平成30年度地域保健健康増進事業報告より

市町村別がん検診受診率 < H30乳がん >

(出典：H30地域保健・健康増進事業報告)

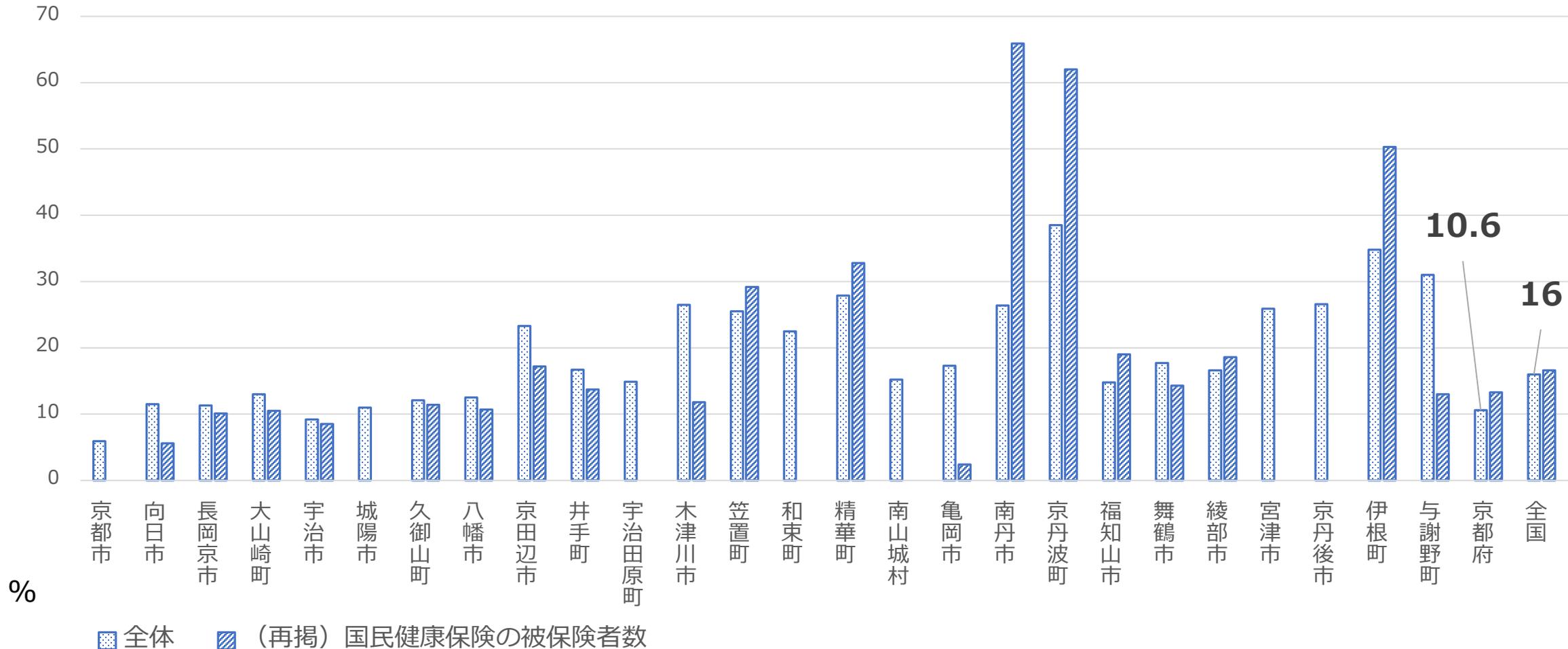


※40～69歳、2年に1回,グラフなしはデータ不詳

平成30年度地域保健健康増進事業報告より

市町村別がん検診受診率 < H30子宮頸がん >

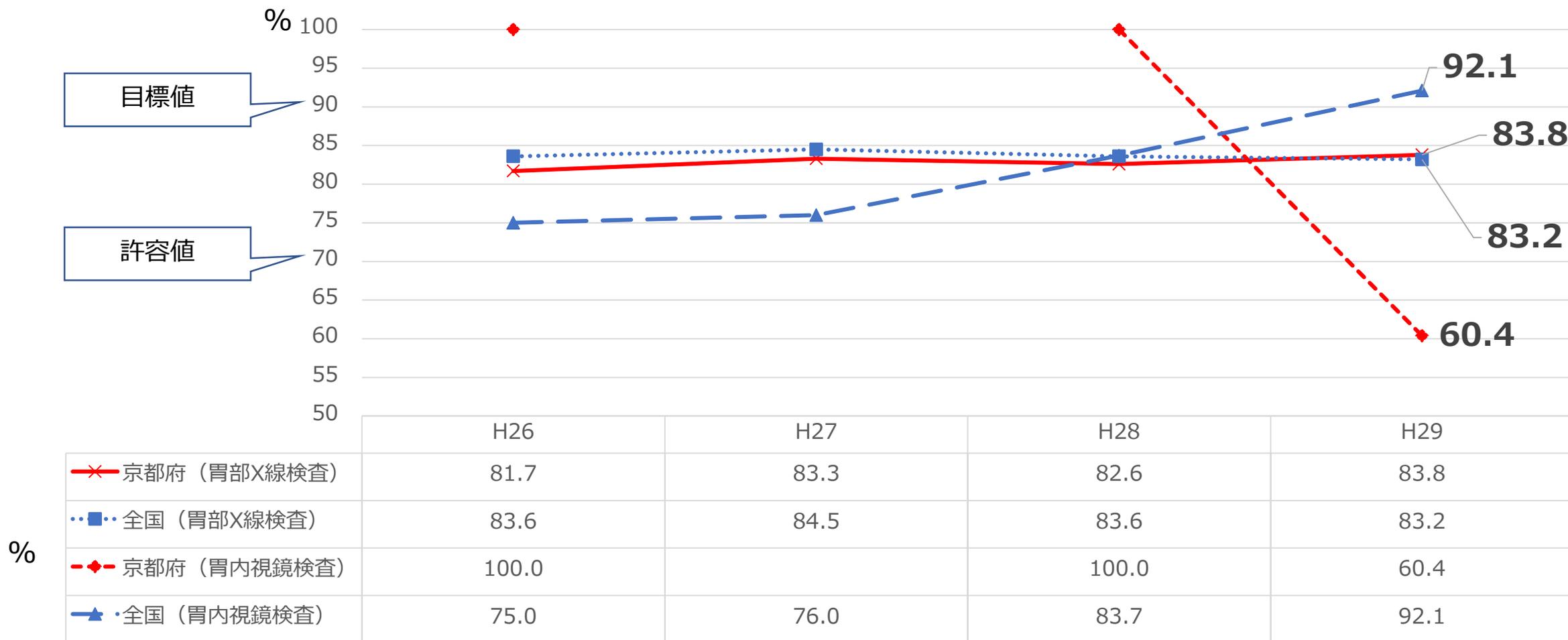
(出典：H30地域保健・健康増進事業報告)



※20～69歳、2年に1回、グラフなしはデータ不詳

平成30年度地域保健健康増進事業報告より

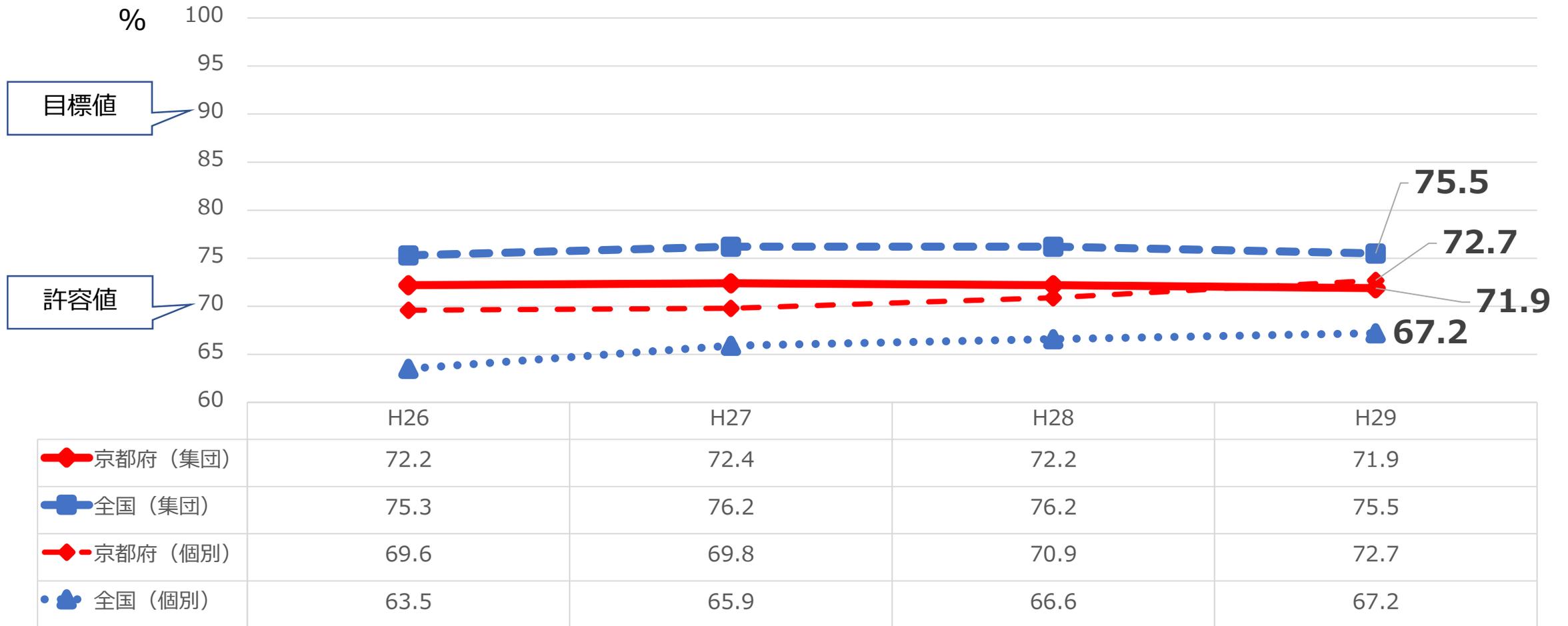
胃がん検診 精密検査受診率の推移



※40～74歳

平成30年度地域保健健康増進事業報告より

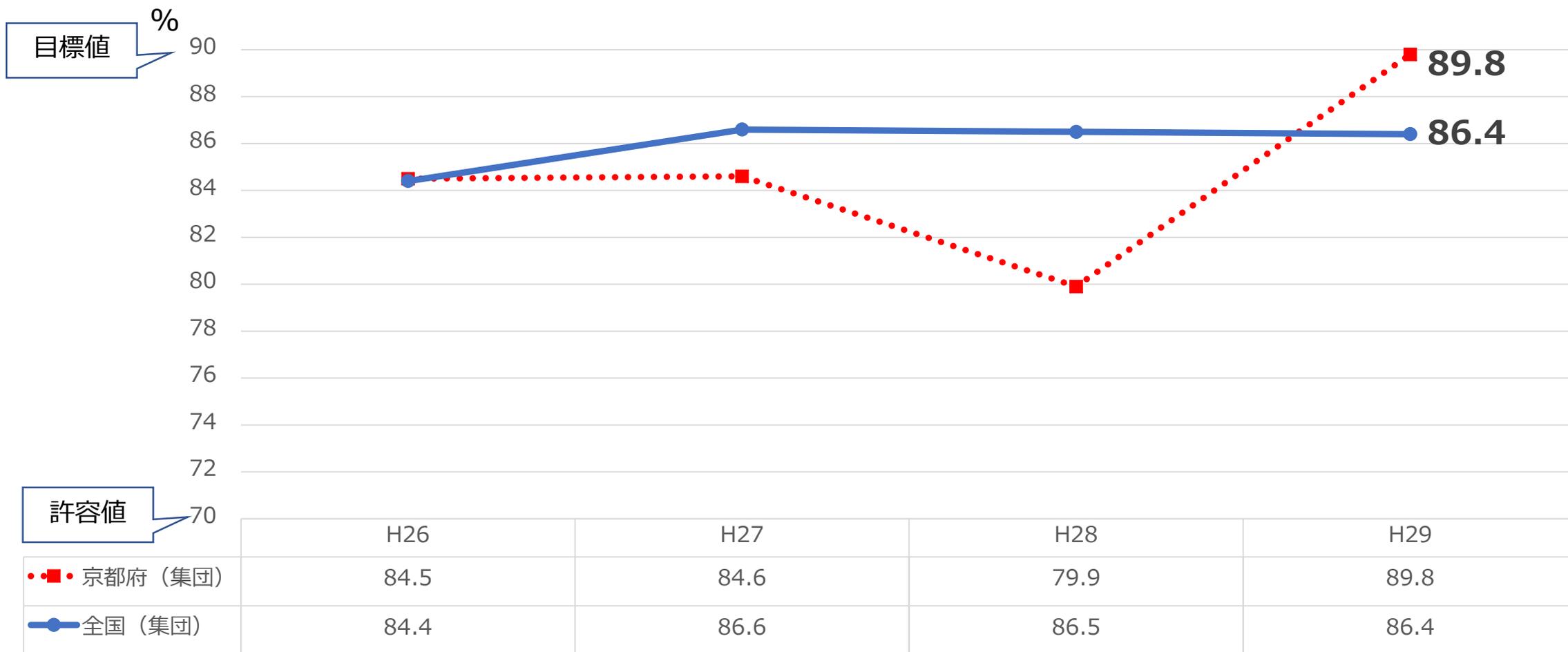
大腸がん検診 精密検査受診率の推移



※40～74歳

平成30年度地域保健健康増進事業報告より

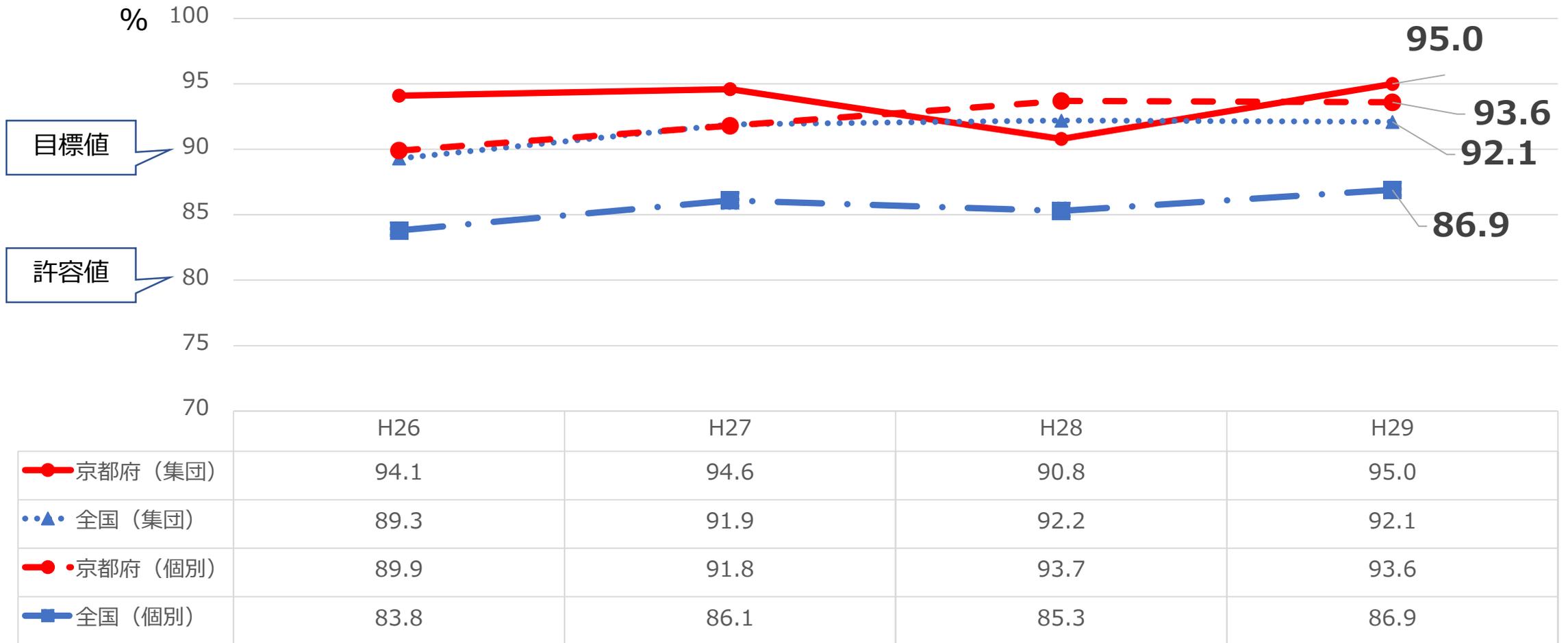
肺がん検診 精密検査受診率の推移



※40～74歳

平成30年度地域保健健康増進事業報告より

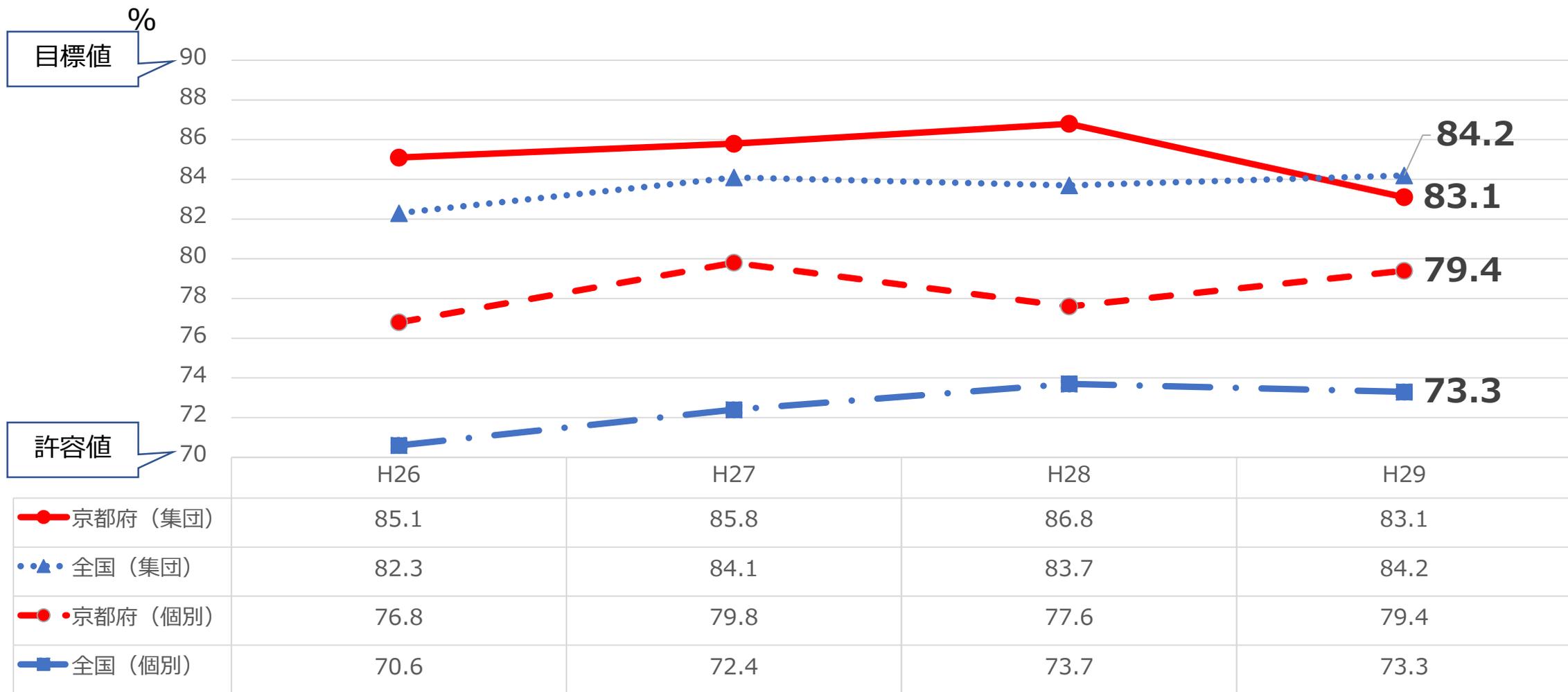
乳がん検診 精密検査受診率の推移



※40～74歳

平成30年度地域保健健康増進事業報告より

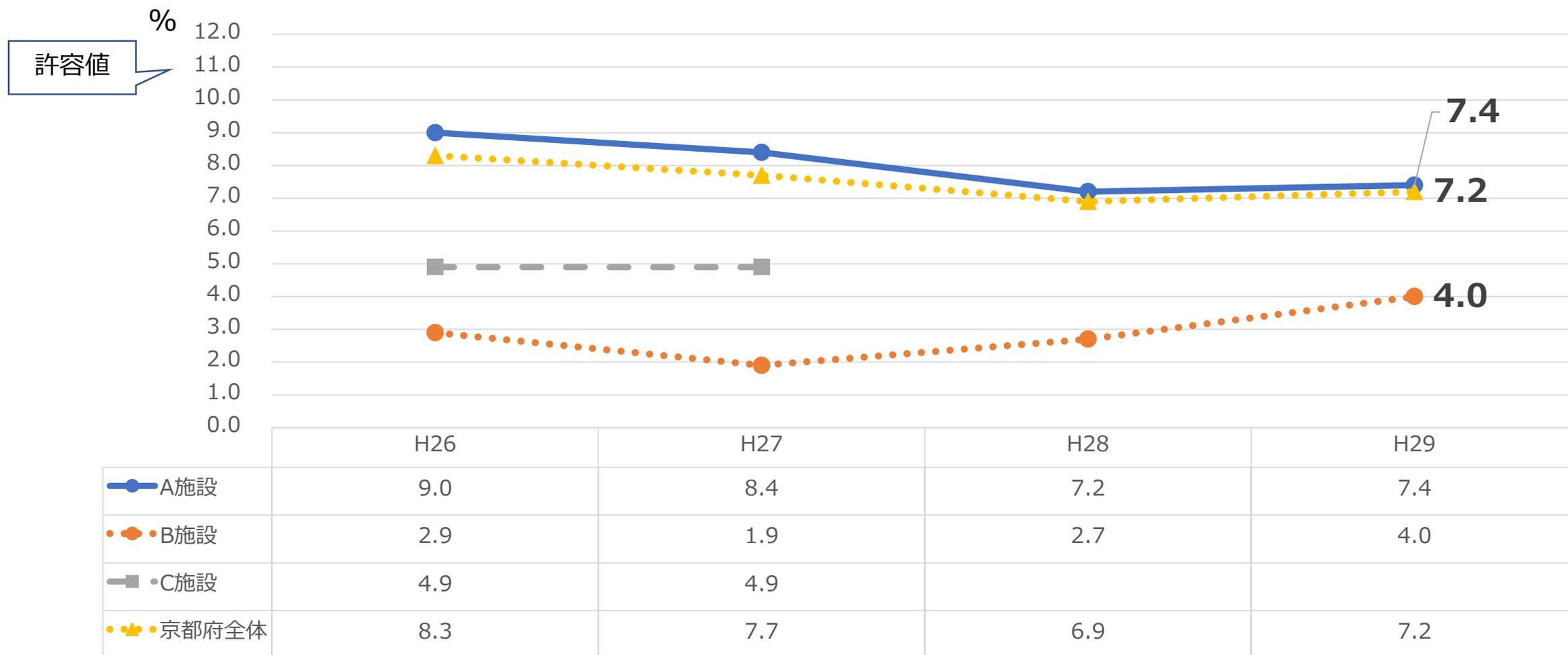
子宮頸がん検診 精密検査受診率の推移



※20～74歳

平成30年度地域保健健康増進事業報告より

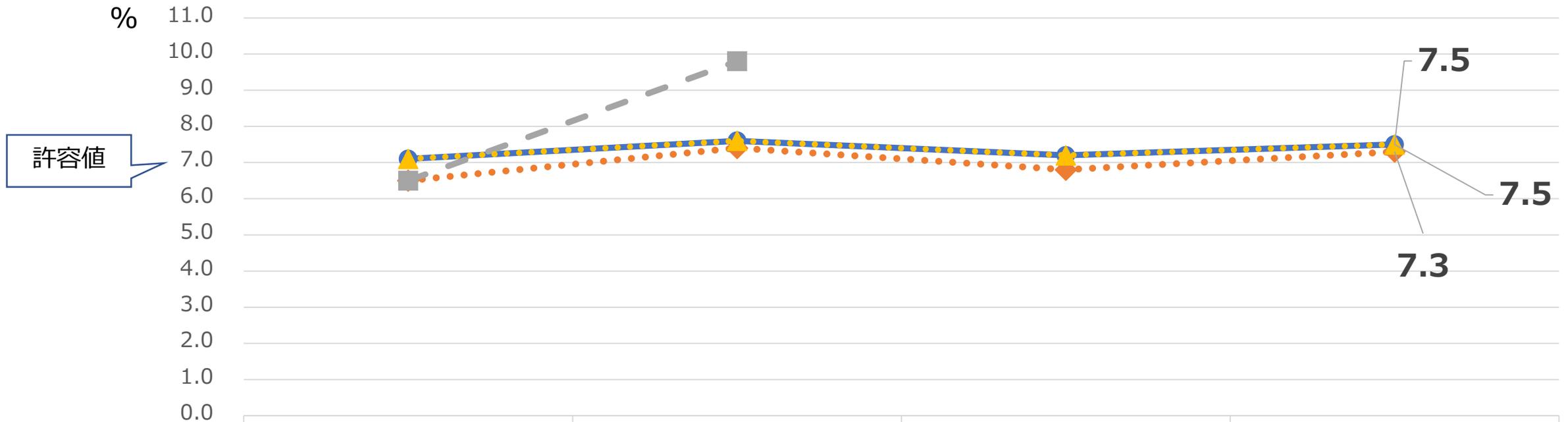
検診機関別 胃がん検診要精検率



※対象年齢上限なし

京都府健康対策課調べより

検診機関別 大腸がん検診要精検率

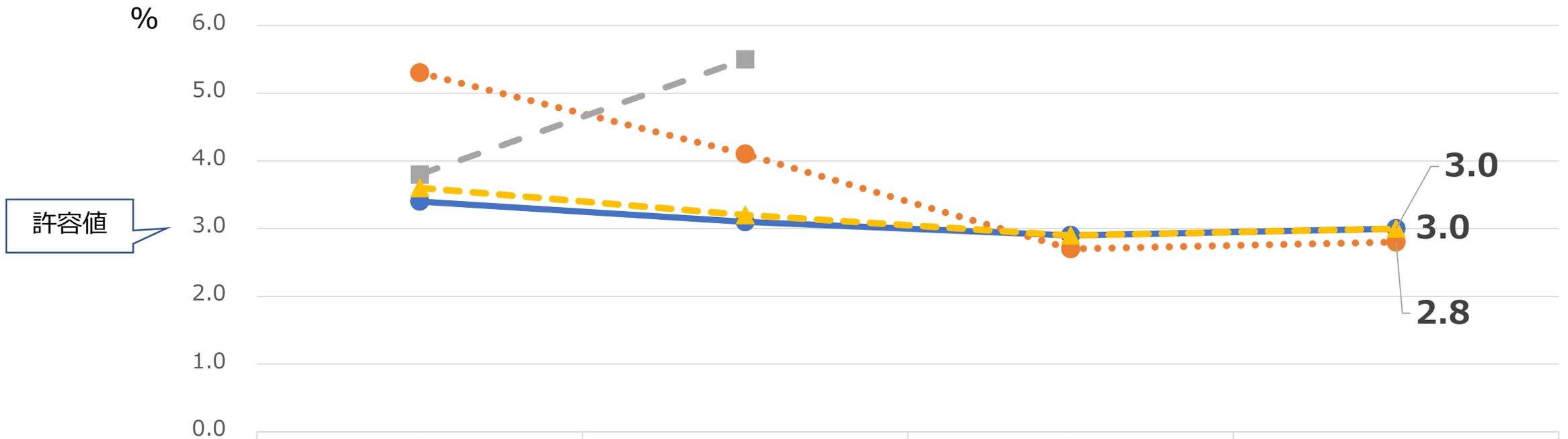


	H26	H27	H28	H29
● A施設	7.1	7.6	7.2	7.5
◆ B施設	6.5	7.4	6.8	7.3
■ C施設	6.5	9.8		
▲ 京都府全体	7.1	7.6	7.2	7.5

※対象年齢上限なし

京都府健康対策課調べより

検診機関別 肺がん検診要精検率

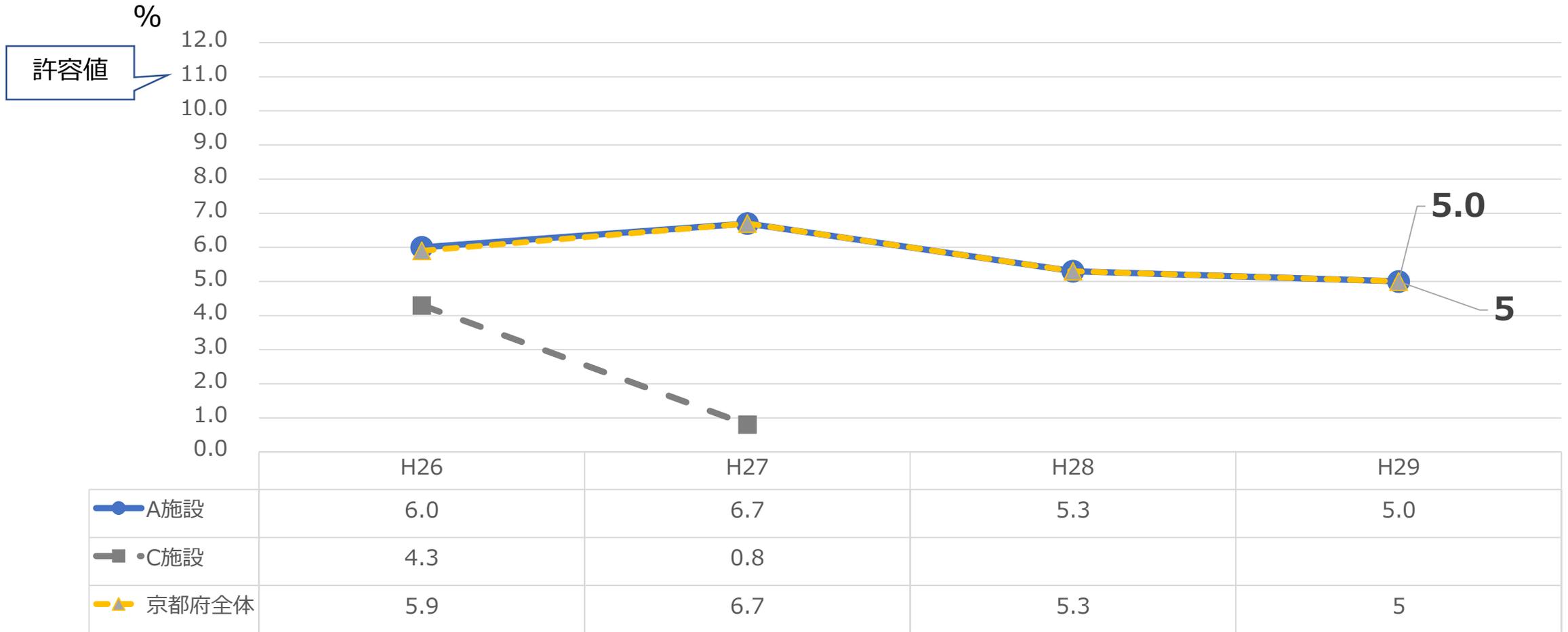


	H26	H27	H28	H29
● A施設	3.4	3.1	2.9	3.0
● B施設	5.3	4.1	2.7	2.8
■ C施設	3.8	5.5		
▲ 京都府全体	3.6	3.2	2.9	3.0

※対象年齢上限なし

京都府健康対策課調べより

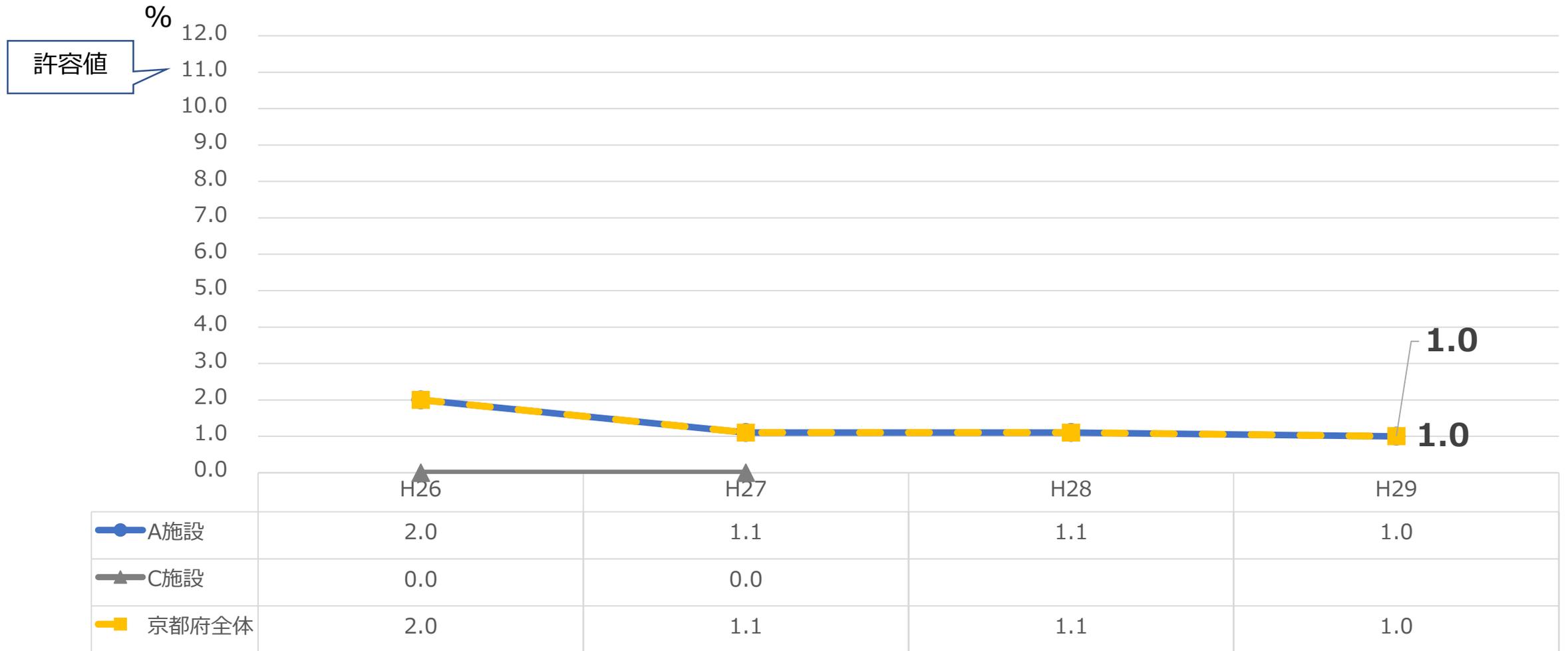
検診機関別 乳がん検診要精検率



※H26.27は、マンモ+視触診併用、H28,29はマンモ単独とマンモ+視触診併用
 ※対象年齢上限なし

京都府健康対策課調べより

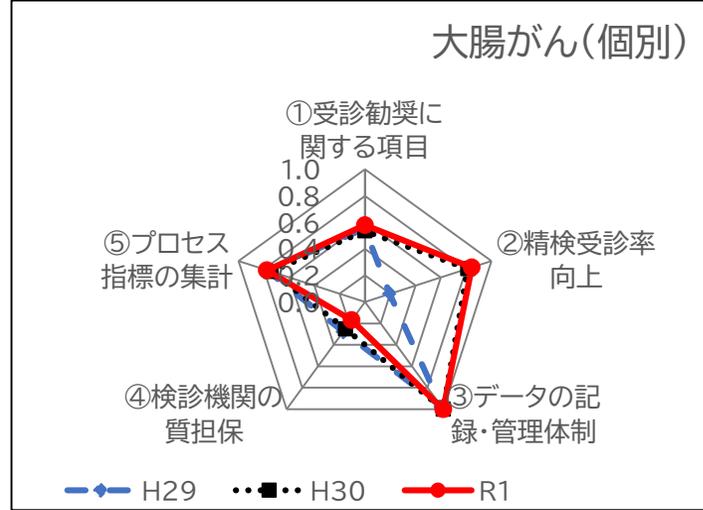
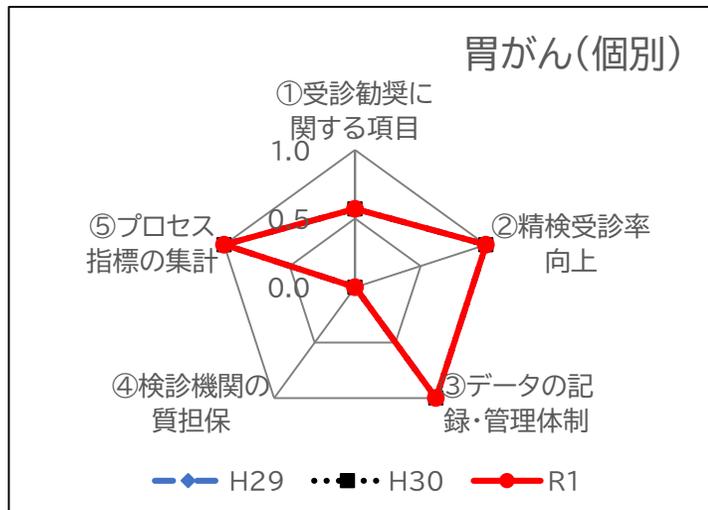
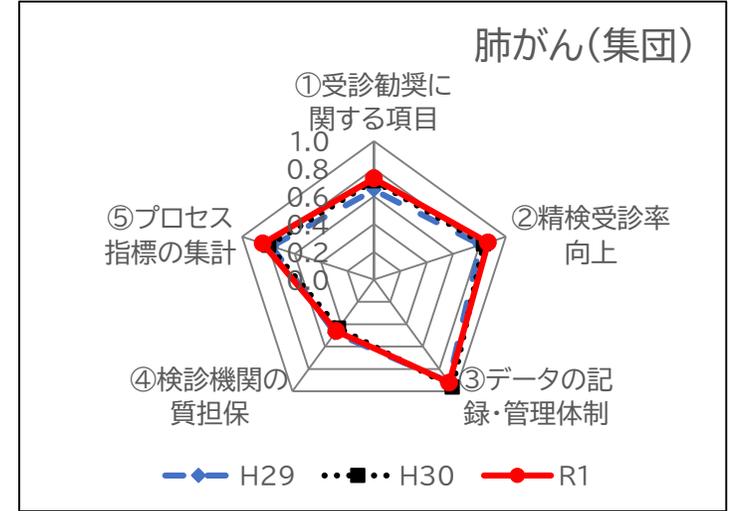
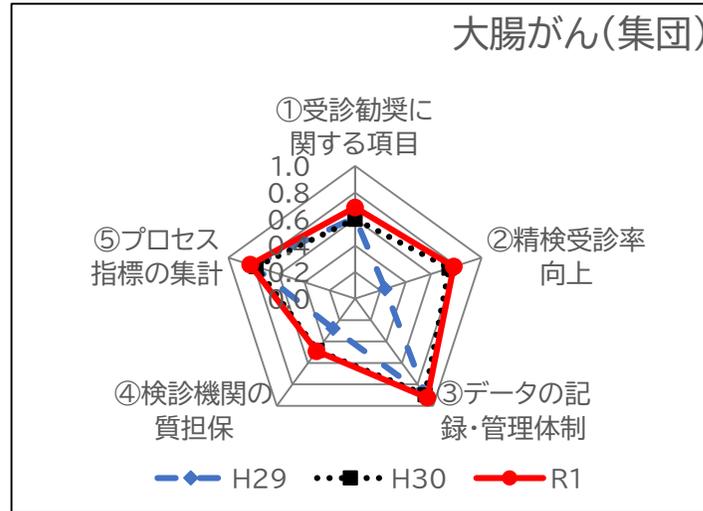
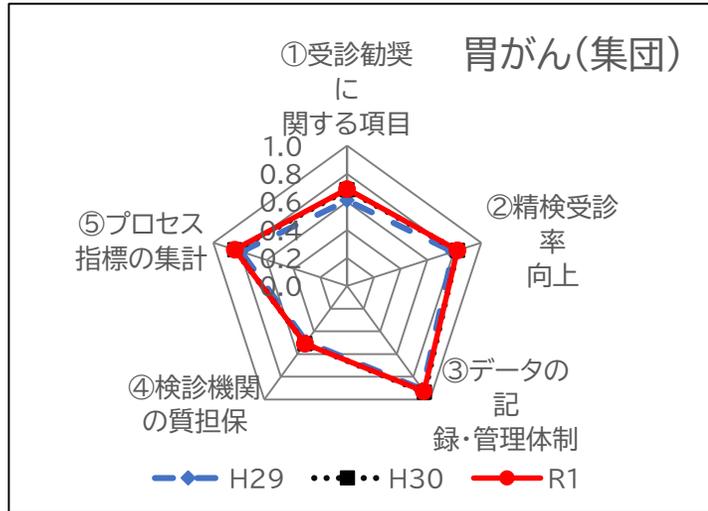
検診機関別 子宮頸がん検診要精検率



※対象年齢上限なし

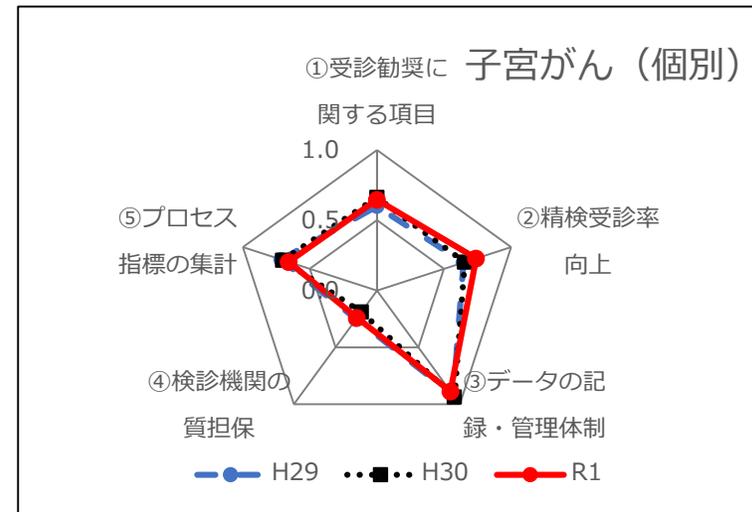
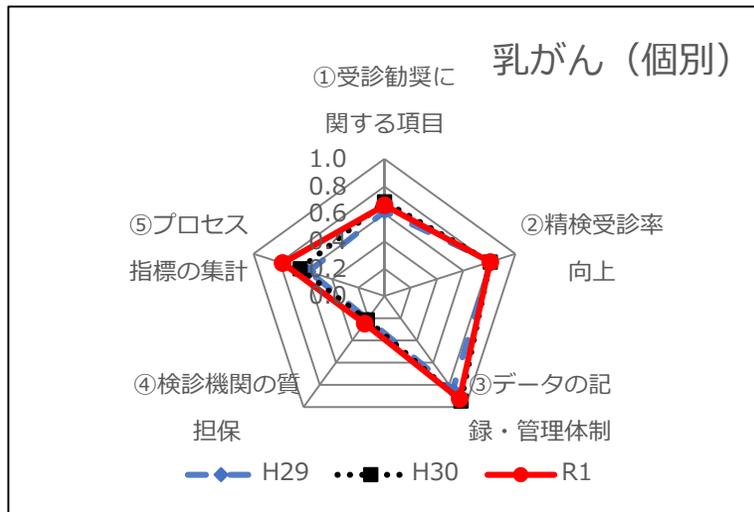
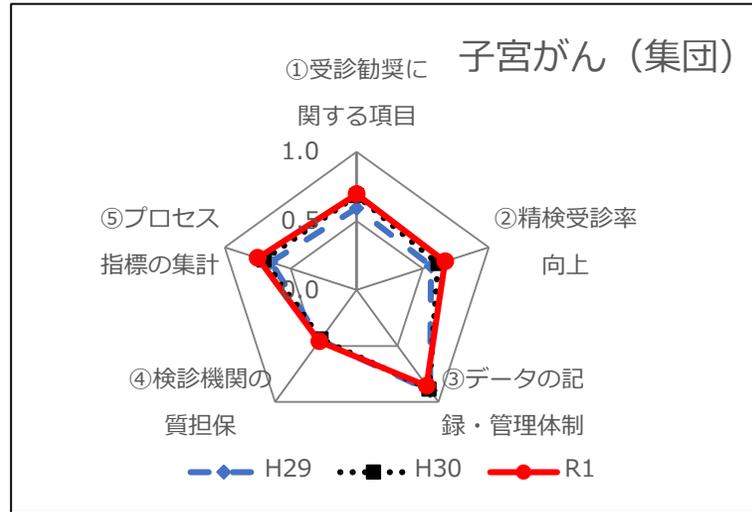
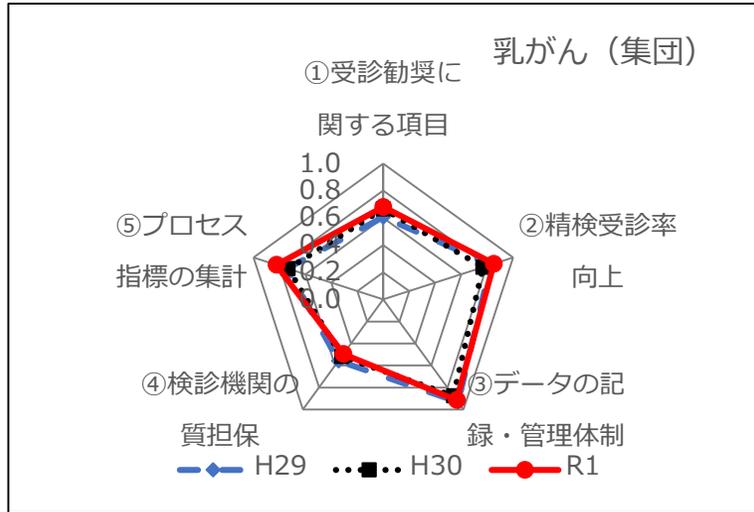
京都府健康対策課調べより

市町村チェックリスト (R元年度) 胃・大腸・肺



市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

市町村チェックリスト (R元年度) 乳・子宮



市区町村におけるがん検診
チェックリストの使用に
関する実態調査

市町村チェックリスト（R元年度）まとめ

- 全体的にみて、チェックリストは年々改善傾向
- 「①受診勧奨に関する項目」では、対象者の把握は進んでいるが、対象者への個別受診勧奨をしているところはいまだ少なかった。
- 「②精検受診率向上に関する項目」では、「一覧に記載した医療機関に、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼」が未達成の自治体が比較的多かった。
- 「③データの記録・管理体制に関する項目」「⑤プロセス指標の集計」では、多くの市町村が達成できていた。（地域保健健康増進事業報告にあるような受診率、要精検率等の報告）
- 「④検診機関の質担保に関する項目」では、他の項目と比較して未達成の割合が高かった。

検診機関・医師会チェックリスト（R元年度）

チェックリスト項目	A施設	B施設	D施設
受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、規定期間内になされているか	×（大腸、肺）	○	○
必要に応じて過去に撮影したエックス線写真と比較読影しているか	×（胃）	○	○
精密検査方法及び精密検査（治療）結果について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めているか	○	×（胃、大腸、肺）	○
撮影や読影向上のための検討会や委員会を設置しているか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しているか。	○	×（胃、大腸、肺）	○
自施設の検診結果について、プロセス指標値を把握しているか	○	×（胃、大腸、肺）	○
細胞診の業務を委託する場合は、その委託機関名（施設名）を仕様書に明記しているか。	—	○	×（子宮）
喀痰検査のがん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行っているか	○	×（肺）	○
子宮頸がんの検体が不正との判定を受けた場合は、当該検診機関で再度検体採取を行っているか。	○	—	○
子宮頸がんの検体が不適正との判断を受けた場合は、当該検診機関でその原因等を検討し、対策を講じましたか	○	—	×

検診機関・医師会チェックリスト（R元年度）

- 全体として、前年度と比較して改善傾向にある。
- 「受診者への結果の通知・説明、または市区町村への結果報告期間」は、改善が見られた検診（胃、乳、子宮がん）もあるが、検診機関により差がある。
- 「精度管理向上のための委員会等への参加」や「プロセス指標の把握」は、検診機関により差がある。

都道府県チェックリストについて（R元年度）

< 目的 >

都道府県が、市区町村や検診機関の体制や検診データを把握し、適切な精度管理を行っているかを評価するもの。都道府県が自己点検を行うことも目的としている。

< 京都府の結果 >

- ・ 5大がん全てについてB評価（H30年度同様）
（A：福井県のみ B：23府県、C：19都道府県、
D：4県、E：0都道府県）
- ・ 部会開催状況については、公表が調査時期以降であるため「公表準備中」となっている。

3-1. 都道府県別の総合評価（胃がん検診・集団検診）

※枠内は要改善の都道府県を示す

	調査2 胃がん部会の開催状況、および精度管理評価結果の公表状況							合計	
	部会開催済								
	公表状況				公表準備中		開催予定なし		
	A	B	C	D	公表準備中		E		
調査1 都道府県別 チェックリストの 遵守状況	A	1 福井	-	-	-	-	-	-	1
	B	-	11 宮城、山形、茨城、群馬、新潟、石川、大阪、徳島、佐賀、鹿児島、沖縄	6 福島、千葉、山梨、長野、岐阜、鳥取	4 富山、滋賀、鳥取、山口	1 京都	-	-	22
	C	1 栃木	3 秋田、岡山、長崎	3 広島、熊本、宮崎	8 北海道、岩手、埼玉、神奈川、愛知、奈良、愛媛、大分	3 三重、香川、高知	2 青森、和歌山		20
	D	-	-	-	3 東京、静岡、福岡	-	-	1 兵庫	4
	E	-	-	-	-	-	-	-	0
合計	2	14	9	15	4	3		47	

都道府県におけるがん検診チェックリスト

指針外の検診実施状況

種別	検査項目	R1：実施市町村数	その他
胃がんリスク	ペプシノゲン・ヘリコバクターピロリ同時	5	個別医療機関にて実施
	ヘリコバクターピロリ単独	1	集団検診にて実施
前立腺がん	PSA検査	25	うちR2から廃止：1自治体、R3から廃止：2自治体
肝臓がん	エコー以外	1	今後も継続予定
子宮体がん	細胞診	3	R2から廃止
卵巣がん	エコー	0	
甲状腺がん	エコー	0	
口腔がん		0	

○前立腺検診については、R1年度より中止・廃止する市町村が出てきた。

○子宮体がん検診については、R2年度より全市町村が廃止。

令和2年度市町村がん検診実施状況調査より

受診率向上の取り組み状況（R元年度）

		特定健診との 同時受診	個別受診勧奨	web予約	女性が受診しやすい体制
胃がん	集団N=26	1 5	1 6	5	—
	個別N=2			0	
大腸がん	集団N = 21	2 3	1 9	3	—
	個別N = 16			0	
肺がん	集団N=26	1 5	1 4	3	—
乳がん	集団N=21	1 6	2 6	3	1 3
	個別N=22			1	4
子宮頸がん	集団N = 14	1 8	2 4	2	6
	個別N = 25			0	2

※自治体数N=26 実施している自治体数

令和2年度市町村がん検診実施状況調査より